

は し が き

この概況は、令和元年の本市消防現勢および消防業務統計を収録し、今後の消防行政の参考とするとともに、広く本市の消防行政をご理解いただくことを目的として編さんいたしましたのでご高覧いただければ幸いです。

令和2年12月

茨木市消防本部

消防長 乾 克文

■市の花「バラ」



■市の木「カシ」



茨木市民憲章

わたくしたちは 茨木市民です

わたくしたちの 茨木市は

京阪神を結ぶ要路にあって

めぐまれた自然とゆたかな歴史をうけつぎ

発展しつづけている希望のまちです

わたくしたちは

このまちの市民であることに誇りと責任をもち

みんなのしあわせをねがって

より住みよい郷土をつくるために

この憲章をさだめます

わたくしたち 茨木市民は

1. 心をあわせて あすの力をそだてましょう
1. 仕事にはげんで 明るい家庭をきずきましょう
1. 環境をととのえて 美しいまちをつくりましょう
1. きまりをまもって 良い風習をひろめましょう
1. 教養をふかめて みんなの文化をたかめましょう

昭和41年(1966年)11月3日制定

目次

* 概 要 *

地 勢	1
消防本部（署）・分署の配置	2
庁 舎 の 概 要	2
茨木市消防本部の沿革	3

* 総務課編 *

総 務 課 事 務 分 掌	11
茨木市消防本部機構図	12
職員の定数及び実員の推移	13
職 員 配 置 状 況	13
職員の免許・資格所有状況	14
職員の年齢別構成状況	15
職員の勤続年数別構成状況	16
消 防 費 予 算	17
消 防 費 決 算	17
消防職員委員会の開催状況	17
職 員 研 修 状 況	18

* 警備課編 *

警 備 課 事 務 分 掌	19
火 災 概 況	
1 年 別 火 災 状 況	20
2 月 別 火 災 状 況	21
3 被 害 状 況	21
4 防火対象物別火災状況	22
5 時間別・曜日別火災状況	23
6 火災種別・原因別火災状況	23
7 り災証明発行状況	23
消 防 水 利 状 況	24
車 両 等 の 配 置 状 況	24
災害等受信・指令状況	
1 災 害 等 受 信 状 況	25
2 災 害 別 受 信 状 況	25
3 受 信 別 指 令 状 況	25
4 気 象 情 報 受 信 状 況	25

* 予防課編 *

予 防 課 事 務 分 掌	26
用途別防火対象物数 （ 査 察 状 況 ）	27
建築物消防同意状況	28
防 火 相 談 状 況	28
訓 練 指 導 状 況	28
庁 舎 見 学 状 況	28
防火管理者資格取得講習会状況	28
開発行為等に関する指導状況	
1 用 途 別 指 導 状 況	29
2 階 数 別 指 導 状 況	29
3 消 防 水 利 指 導 状 況	29
危険物製造所等設置状況	30
少量危険物貯蔵取扱所等設置状況	30
危険物製造所等査察状況	30
少量危険物貯蔵取扱所等査察状況	30
各 種 申 請 等 受 理 状 況	31
保安三法関係申請等受理状況	32
高 圧 ガ ス 関 係	33
液 化 石 油 ガ ス 関 係	34
火 薬 類 関 係	35

* 消防署編 *

消 防 署 事 務 分 掌	36
火 災 等 活 動 状 況	
1 火 災 活 動 状 況	38
2 消 防 事 故 等 活 動 状 況	38
3 管 外 応 援 活 動 状 況	38
4 警 戒 活 動 状 況	39
5 自 然 災 害 活 動 状 況	39
6 救 助 活 動 状 況	40
7 消 防 訓 練 実 施 状 況	40
8 水 利 調 査 実 施 状 況	40
9 広 報 実 施 状 況	40
10 巡 回 実 施 状 況	40
11 火災予防条例第45条及び45条の2受理状況	40
12 消 火 薬 剤 等 使 用 ・ 保 有 状 況	40
13 用 途 別 査 察 状 況	41

救 急 概 況	
1 年 別 救 急 出 動 件 数	42
2 受持区域別救急出動件数及び搬送人員	42
3 月 別 救 急 出 動 件 数 及 び 搬 送 人 員	43
4 時 間 別 救 急 出 動 件 数	43
5 曜 日 別 救 急 出 動 件 数	44
6 症 度 別 救 急 搬 送 人 員	44
7 応 急 処 置 件 数	44
8 救 急 救 命 講 習 等 状 況	45

* 音楽隊編 *

音 楽 隊 編 成	46
階 級 別 楽 器 編 成 表	46
音 楽 隊 出 演 状 況	47
保 有 楽 器	47

* 消防団編 *

消 防 団 組 織 概 要	48
階 級 別 実 員 数	49
階 級 別 年 齢 構 成	49
階 級 別 勤 続 年 数	50
表 彰 状 況	50
車 両 等 の 配 置 状 況	50

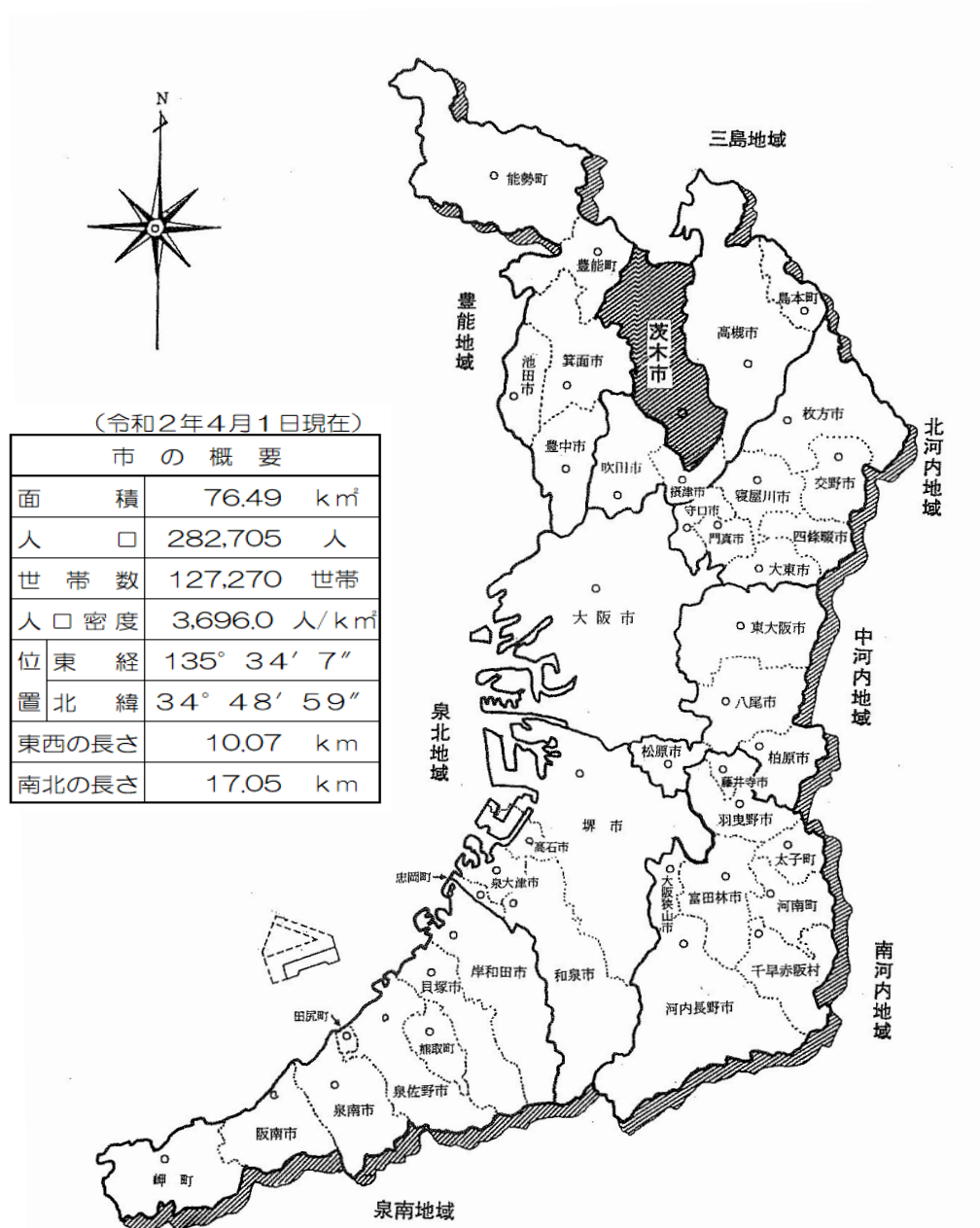
※この概況において、

令和元年中とあるのは「平成31年1月1日から令和元年12月31日」、令和元年度とあるのは「平成31年4月1日から令和2年3月31日」、「令和2年4月1日」とあるのはその期日現在の現況数を示す統計である。

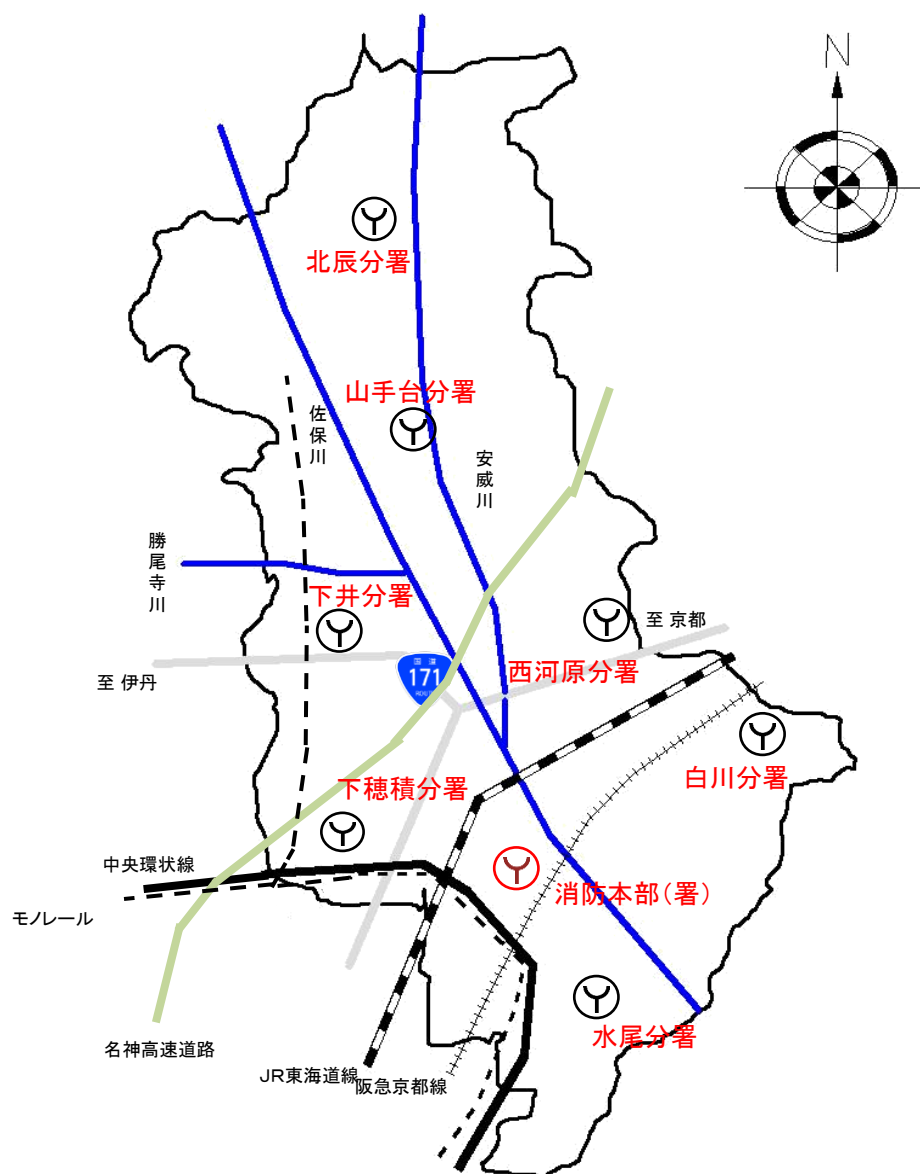
地 勢

本市は、大阪府の北部、淀川の北にあり、丹波高原の一部をなす老の坂山地の麓に、南北17.05km 東西10.07km 面積76.49km²で、南北に長く東西に短い地形をなし、市域の北半分は山地部、南半分は平地部に分かれ、この平地部に商工業・住居が集中しています。

また、北は京都府亀岡市に、東は高槻市に、南は摂津市に、西は吹田市・箕面市・豊能郡豊能町に接しています。



消 防 本 部（署） ・ 分 署 の 配 置



庁 舎 の 概 要

名 称	所 在 地	電 話	延床面積㎡	構造／階数	建築年
茨木市合同庁舎 (消防本部(署))	東中条町2番13号	622-6955	1,954 *(2,513)	RC造 地下1F 地上7F	昭和48年
水尾分署	水尾三丁目18番15号	638-1119	597	RC造／2F	平成3年
下井分署	下井町2番3号	641-4141	823	RC造／2F	平成元年
下穂積分署	下穂積一丁目7番10号	625-1402	798	RC造／2F	平成10年
西河原分署	城の前町1番10号	627-0841	905	RC造／2F	平成24年
北辰分署	大字泉原38番地の8	649-3222	480	RC造／2F	昭和49年
白川分署	白川二丁目11番1号	635-5810	480	RC造／2F	昭和57年
山手台分署	山手台二丁目2番23号	649-0143	786	RC造／2F	昭和60年

* 茨木市合同庁舎を消防本部(署)として部分的に占有